

決算説明資料



2020年3月期 第25期

2020年5月28日

証券コード 6730

株式会社アクセル

代表取締役社長 松浦 一教

執行役員 管理グループ ゼネラルマネジャー 植野 悦匡

1

2020年3月期の業績

執行役員 管理グループ ゼネラルマネージャー
植野 悦匡

3 参考 トピックス

連結決算へ移行

ax株式会社の設立により第1四半期より連結決算に移行

2019年7月1日 bitcraft株式会社の買収
(買収に伴うのれん計上額は59百万円)

2019年8月1日 モーションポートレート株式会社の買収

2019年10月1日 ax株式会社によるbitcraft株式会社の吸収合併
(グループ経営の効率化が目的)

セグメント情報開示を開始

新規事業の進展による
セグメント情報の量的な
重要性の増加

プロジェクト管理体制の
充実

第2四半期よりセグメント情報の開示を開始

前期 単一事業 ▶ 当期 LSI開発販売関連、新規事業関連

ストックオプション発行

従業員向けに税制適格ストックオプションを発行

導入目的 ・業績向上や企業価値増大への意欲や士気の向上
・新規事業の加速を報酬面からサポート

4 参考 トピックス

期末配当を上方修正

配当方針（配当性向50%：連結優先）に則り配当額を算定

当初計画	確定
1株当たり純利益 9円83銭	1株当たり純利益 41円85銭
1株当たり配当額 5円	1株当たり配当額 21円

役員報酬制度の変更 第25期定時株主総会に付議

株式報酬制度の導入と資本コストを意識した業績連動報酬（主な改正点）

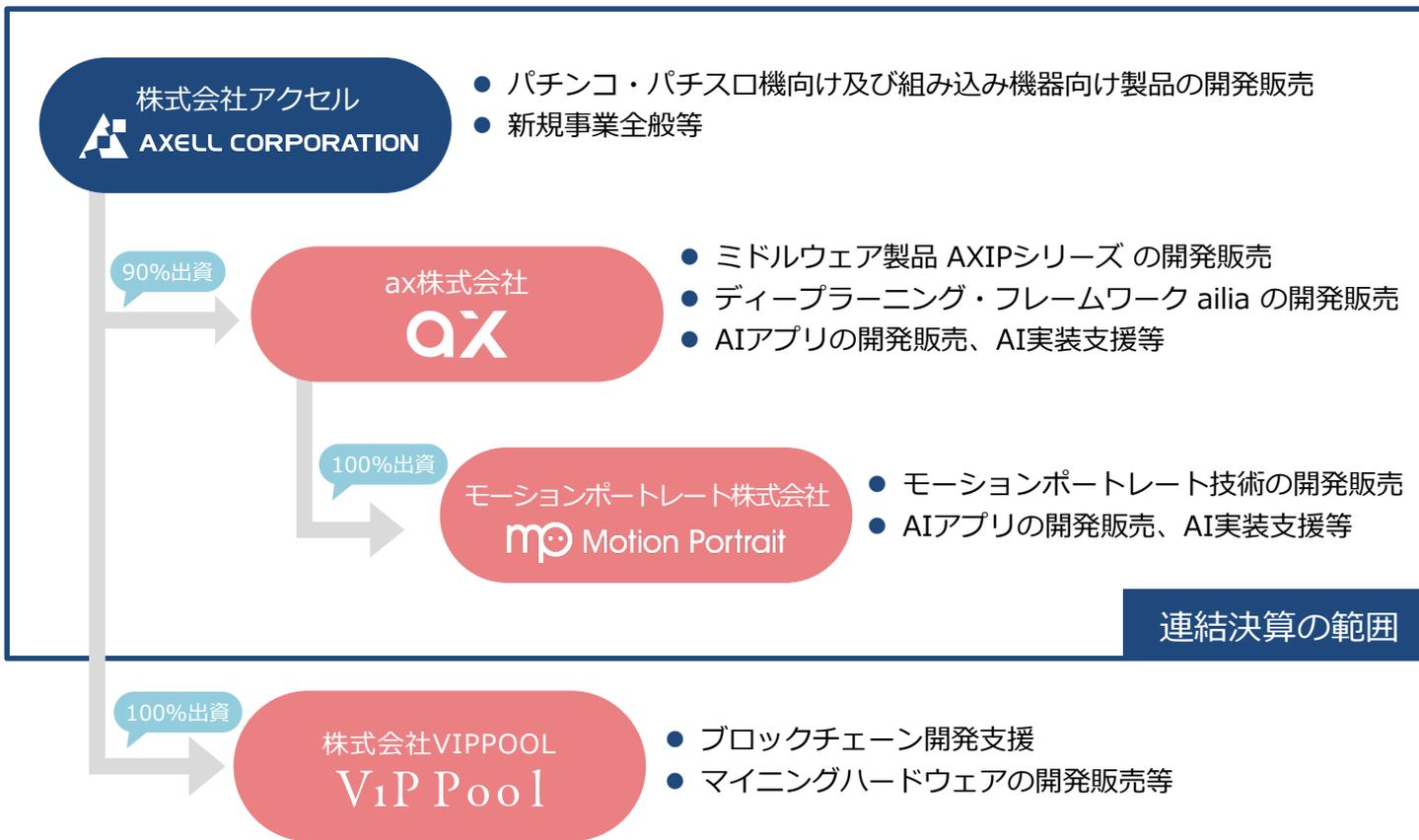
固定報酬	減額条項の強化、当期純損失計上で6ヶ月間20~30%減額へ
短期連動報酬	業績連動強化、ROE 8%未満は不支給、ROE 8%以上は増額へ
中長期業績連動	ROE3期平均支給基準から譲渡制限付株式報酬制度へ移行

株主優待制度の導入

保有期間、保有株数に応じた株主優待制度を導入（新設）

保有株式数	継続保有期間及び優待内容		
	1年未満	1年以上5年未満	5年以上
100株以上500株未満	-	クオカード500円	
500株以上	-	クオカード500円	クオカード3,000円

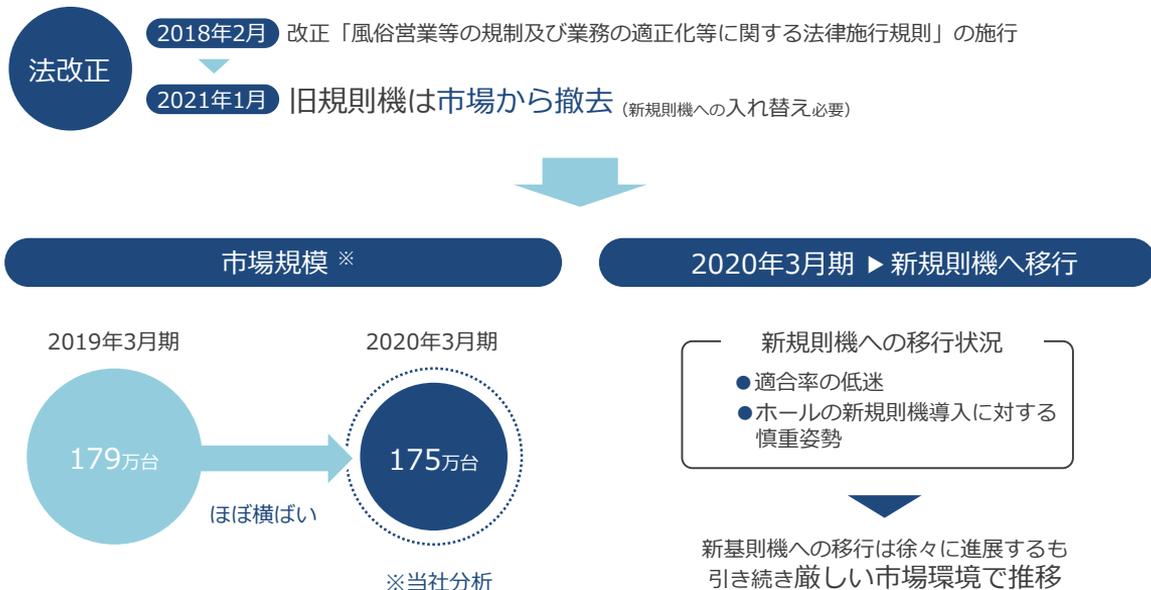
5 アクセルグループの概要



6 | 2020年3月期 市場動向

2020年3月期の主力市場の動向

パチンコ・パチスロ機市場



7 | 2020年3月期 連結業績の概要

(単位：百万円)

	参考 '19/3通期 個別実績	売上比	'20/3通期 連結実績	売上比	参考 増減額	参考 増減率
売上高	5,003	100%	9,265	100%	4,261	85%
売上原価	3,295	66%	6,316	68%	3,020	92%
売上総利益	1,708	34%	2,948	32%	1,240	73%
販管費	3,380	68%	2,555	28%	△825	△24%
研究開発費	2,513	50%	1,549	17%	△963	△38%
営業損益	△1,672	△33%	393	4%	2,066	—
経常損益	△1,651	△33%	535	6%	2,187	—
親会社株主に帰属 する当期純損益※	△2,000	△40%	468	5%	2,468	—

※'19/3通期個別実績は当期純損失。

営業外収益

NEDO助成金収入
102百万円を計上

特別損失

新規事業にかかる固定資産
の減損21百万円を計上

配当性向50%

期末配当
1株当たり21円

8 2020年3月期 連結売上高の概要

売上高

9,265百万円

前期比 4,261百万円 (85%) 増

(単位：百万円)

10,000

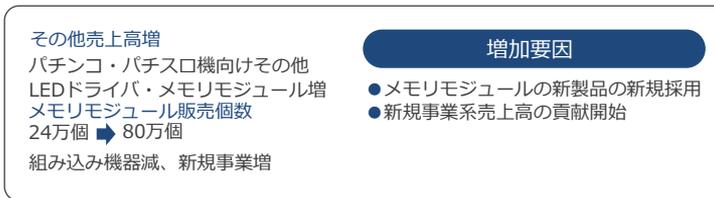
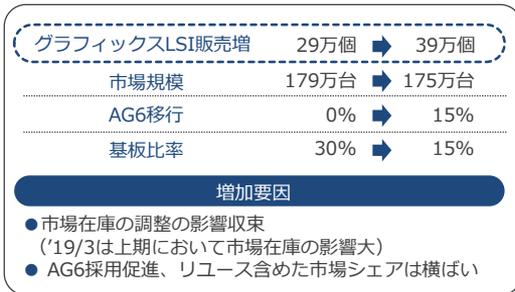
8,000

6,000

4,000

2,000

0



新規事業
関連

パチンコ・パチスロ機向け
その他・組み込み機器向け
55%

パチンコ・パチスロ機向け
グラフィックスLSI
45%

新規事業関連

パチンコ・パチスロ機向け
その他・組み込み機器向け
70%

パチンコ・パチスロ機向け
グラフィックスLSI
30%

2019/3

売上高 5,003百万円

2020/3

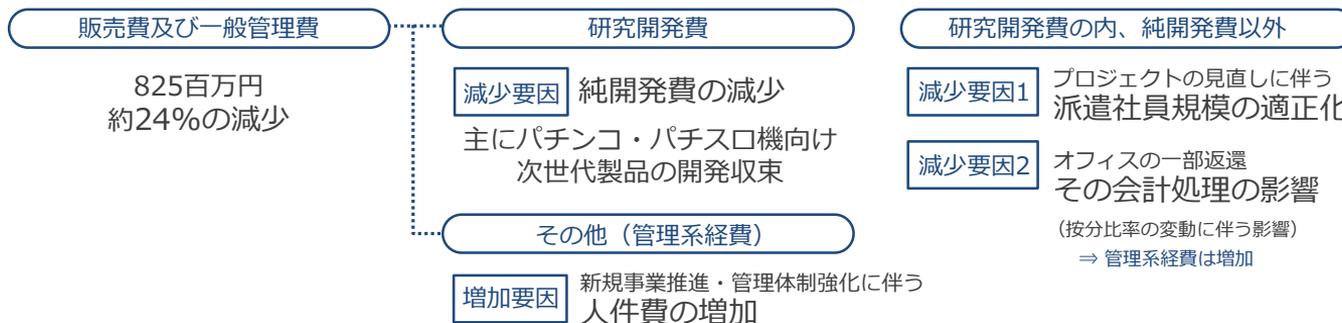
売上高 9,265百万円

9 | 2020年3月期 連結販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費 2,555百万円（前期比825百万円 24%減）

（単位：百万円）

	参考 '19/3 実績個別	構成比	'20/3 実績連結	構成比	参考 増減額	参考 増減率
販管費合計	3,380	100%	2,555	100%	△825	△24%
研究開発費	2,513	74%	1,549	61%	△963	△38%
内、純開発費	1,161	34%	487	19%	△674	△58%
内、純開発費以外	1,351	40%	1,061	42%	△289	△21%
その他	867	26%	1,005	39%	138	16%



10 | 2020年3月期 連結セグメント情報

	参考 '19/3 実績 個別	'20/3 実績 連結
全社業績	売上高： 5,003百万円 営業利益：△1,672百万円	売上高： 9,265百万円 営業利益： 393百万円
LSI開発販売関連 パチンコ・パチスロ機向け製品 組み込み機器向け製品	—	パチンコ・パチスロ機向け製品の販売が好調 売上高：9,068百万円 セグメント利益：1,615百万円
新規事業関連 ミドルウェア、機械学習（AI）、 ブロックチェーン、セキュリティ	—	先行投資期のため赤字を計上 売上高：196百万円 セグメント損失：△641百万円
調整額	—	各セグメントに配分していない全社費用 売上高：- セグメント損失：△580百万円



以上を踏まえ、中間期より**セグメント情報の開示**を開始

11 2020年3月期 連結財政状態

(単位：百万円)

	参考 '19/3末 個別	構成比	'20/3末 連結	構成比
流動資産	8,669	89%	10,103	91%
現金・預金	6,536	67%	8,071	72%
売掛金	411	4%	862	8%
商品及び製品	1,355	14%	1,080	10%
その他	365	4%	88	1%
固定資産	1,032	11%	1,043	9%
資産合計	9,701	100%	11,146	100%
流動負債	347	4%	1,272	11%
固定負債	40	0%	38	0%
負債合計	388	4%	1,310	12%
純資産合計	9,313	96%	9,836	88%
負債・純資産 合計	9,701	100%	11,146	100%

現金・預金

1,535百万円 増
キャッシュ・フロー計算書にて説明

売掛金

450百万円 増
期末月の販売状況による増加

商品及び製品

275百万円 減
'21/3期第1四半期以降販売予定の在庫
(減少は主にグラフィックスLSIの在庫消化)

固定資産

11百万円 増
繰延税金資産の増加
新規事業にかかる固定資産の減損

流動負債

	参考 '19/3末	'20/3末
買掛金	234	662
未払法人税等	—	122
未払消費税等	—	203
その他	113	283

12 2020年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	参考 '19/3実績 個別	'20/3実績 連結
現金及び現金同等物の期首残高	6,868	6,536
現金及び現金同等物増加（△減少）額	△331	1,535
営業キャッシュ・フロー	△250	1,530
投資キャッシュ・フロー	△35	△25
財務キャッシュ・フロー	△55	29
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△0
現金及び現金同等物の期末残高	6,536	8,071

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前純利益	507百万円
たな卸資産の減少	275百万円
仕入債務の増加	428百万円
未払又は未収消費税等の増減	411百万円
売上債権の増加	△425百万円

投資キャッシュ・フロー

有形固定資産の取得	△52百万円
投資有価証券の取得	△40百万円
投資事業組合からの分配	126百万円

財務キャッシュ・フロー

非支配株主からの払込	30百万円
------------	-------

役員賞与の辞退

短期業績連動報酬 20百万円の辞退

2020年3月期の短期業績連動報酬（役員賞与）につき、
全取締役（監査等委員を除く）から辞退する旨の連絡があり不支給とした。

背景

現行の短期業績連動報酬の支給基準である「ROE 5～8%達成で20百万円支給」は満たしている。
一方、より厳しい支給基準となる役員報酬の改定案が、本年6月30日開催予定の第25期定時株主総会において審議される見込みである。新しい支給基準で判定したとすると、短期業績連動報酬は「ROE 8%未満で不支給」となる。
そのため、役員報酬支給基準改定案の審議前のタイミングではあるが、今回は全役員から辞退する旨の連絡があり不支給とした。

2021年3月期の主力市場の動向

パチンコ・パチスロ機市場

次期の市場分析

新規則機への移行 ▶ 入れ替えが必要な旧規則機は市場に多数残
新型コロナウイルスの影響により、**旧規則機の市場撤去期限の延長** が決定
今後の入替え需要は見込めるものの、新型コロナウイルスによる影響は不透明



次期の業績予想は合理的な予想が可能になった
時点で速やかに開示いたします。

2

今後の成長戦略

代表取締役社長
松浦 一教

16 | 新たなステージに向けて、企業理念を刷新

パチンコ主体のファブレス半導体企業から、
世の中の革新に貢献する **先端テクノロジー企業** へ



世の中の革新に貢献する製品（サービス）を実現する**3**つの開発力

高付加価値製品を実現する 総合的な開発力

1 ハードウェア開発力

LSI・FPGA・
基板設計力



2 ソフトウェア開発力

開発ツール・
ライブラリ



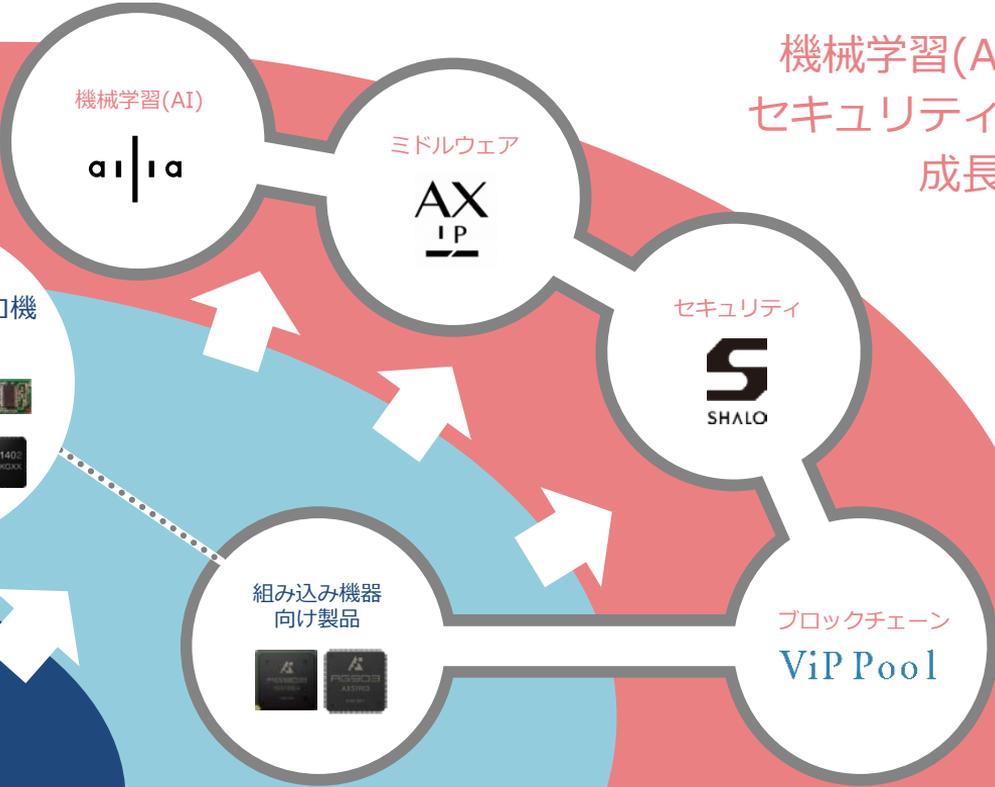
3 要素技術の研究開発力

動画・音声圧縮、超解像、暗号、AI等



3つの開発力を生かして実現した
パチンコ・パチスロ機市場での成功を新規事業で再現

機械学習(AI)、ミドルウェア、
セキュリティ、ブロックチェーンの
成長4領域に注力



アクセルの強み
3つの開発力

19 機械学習(AI) ビジネスモデル

独自開発のエッジ推論向けディープラーニング・フレームワーク「ailia」を中核に展開

AIのフレームワーク販売からロイヤリティビジネスへ

世界最高水準の性能を誇る ailia を起点に、
AIに関する広範な業務の開発支援からスタート

ailia

クロスプラットフォーム対応
ディープラーニング・
フレームワーク

フレームワークの販売と
開発支援の積上げ

ディープラーニング・フレーム
ワークの販売/AI実装のコンサル
ティング

学習済みモデルの蓄積と応用

ターゲット

ソフト開発会社、
製造業・サービス業等

ソリューション
パッケージの提供

ailiaとセットで学習済みモデル
やAI製品を販売/パートナー企
業と共同で用途別モデルを開発

ビジネスモデルの進化

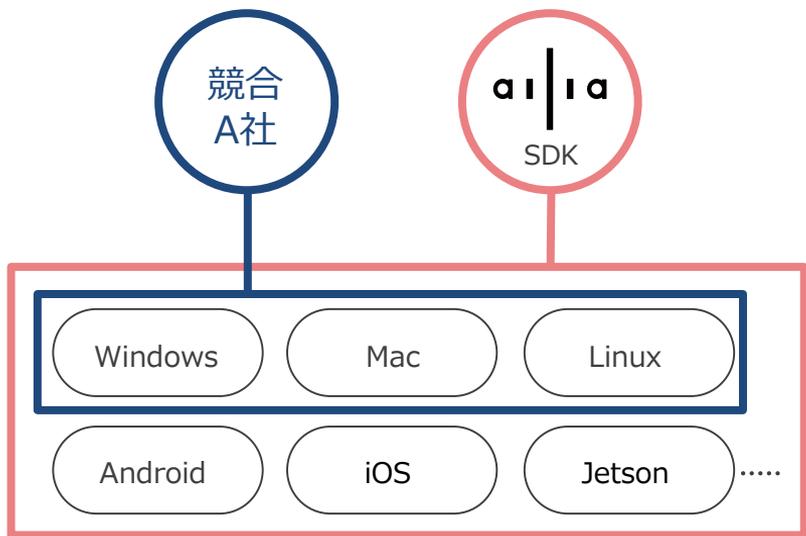
販売&ロイヤリティUP

ロイヤリティ
ビジネスの構築

普及させた ailia の
ロイヤリティで安定収益

規模のメリット

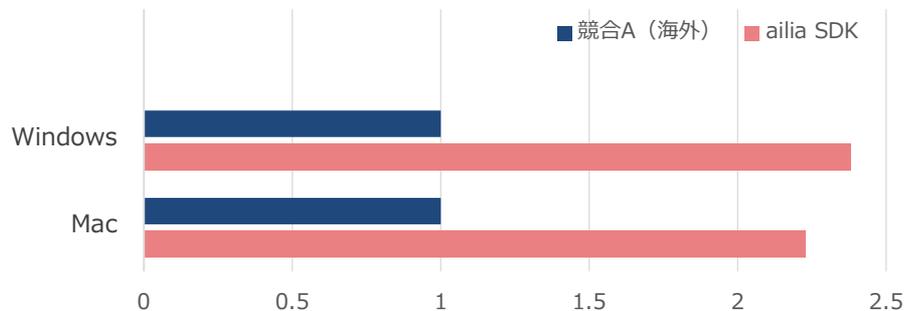
クロスプラットフォームに対応し、
GPUの積極活用で圧倒的な推論処理速度を実現



- モバイル環境にもデスクトップと共通のモデルを実装可能
- nVIDIA以外のAMDやIntelのGPUでも高速推論を実現
- GPUによる高速推論に特別なライブラリのインストールが不要

—— 代表的な学習済みモデル (YOLOv3) における推論速度比 ——

- 競合Aの推論速度を1とした場合の ailia SDK の速度
- VulkanとMetalによるGPU処理で約2倍の速度で推論処理を実現 (当社調べ)



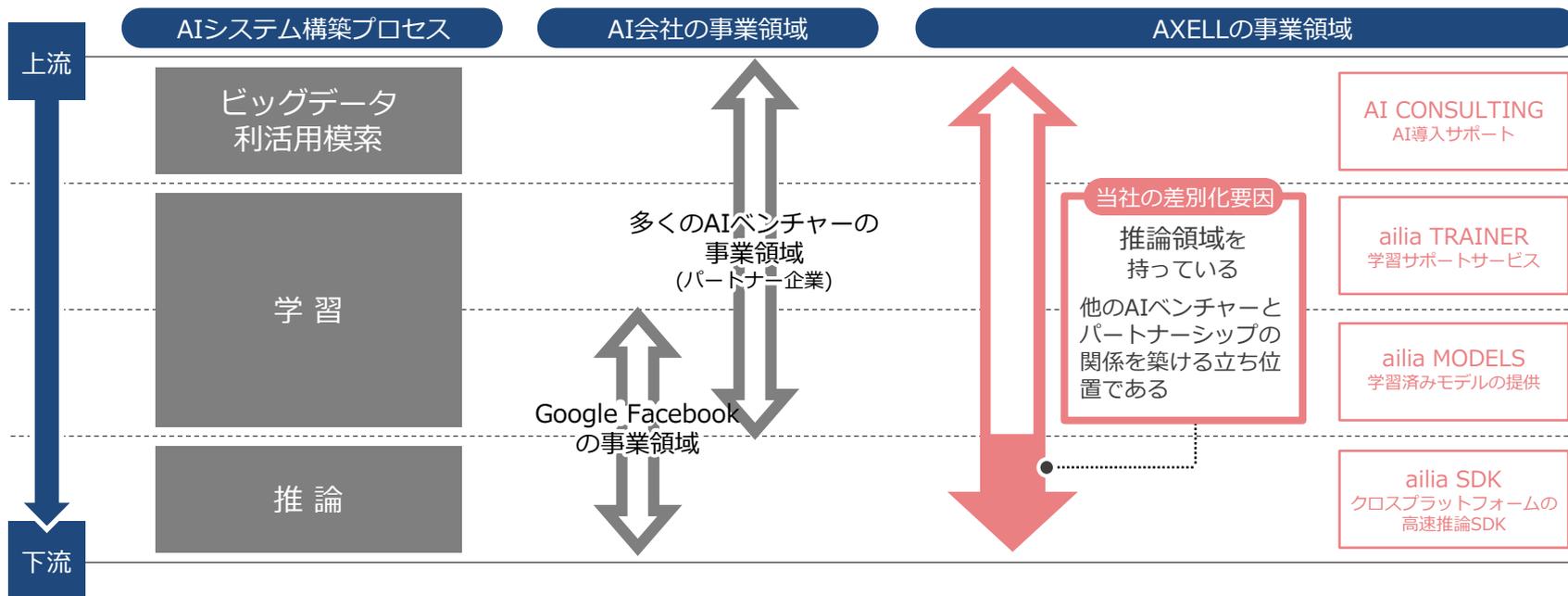
計測条件

Windows ▶ 競合A (AVX) / ailia SDK (Vulkan) Mac ▶ 競合A (AVX) / ailia SDK (Metal)

※この資料に記載されたシステム名、製品名等の各名称は一般的に各社の登録商標または商標です。

21 当社のAIの優位性 1 ユニークな立ち位置

AIを使ったシステムの構築には「学習」と「推論」のプロセスが必要で、「推論」フレームワークを持っているAI事業者は少ない



22 当社のAIの優位性 2 エッジ向けに特化

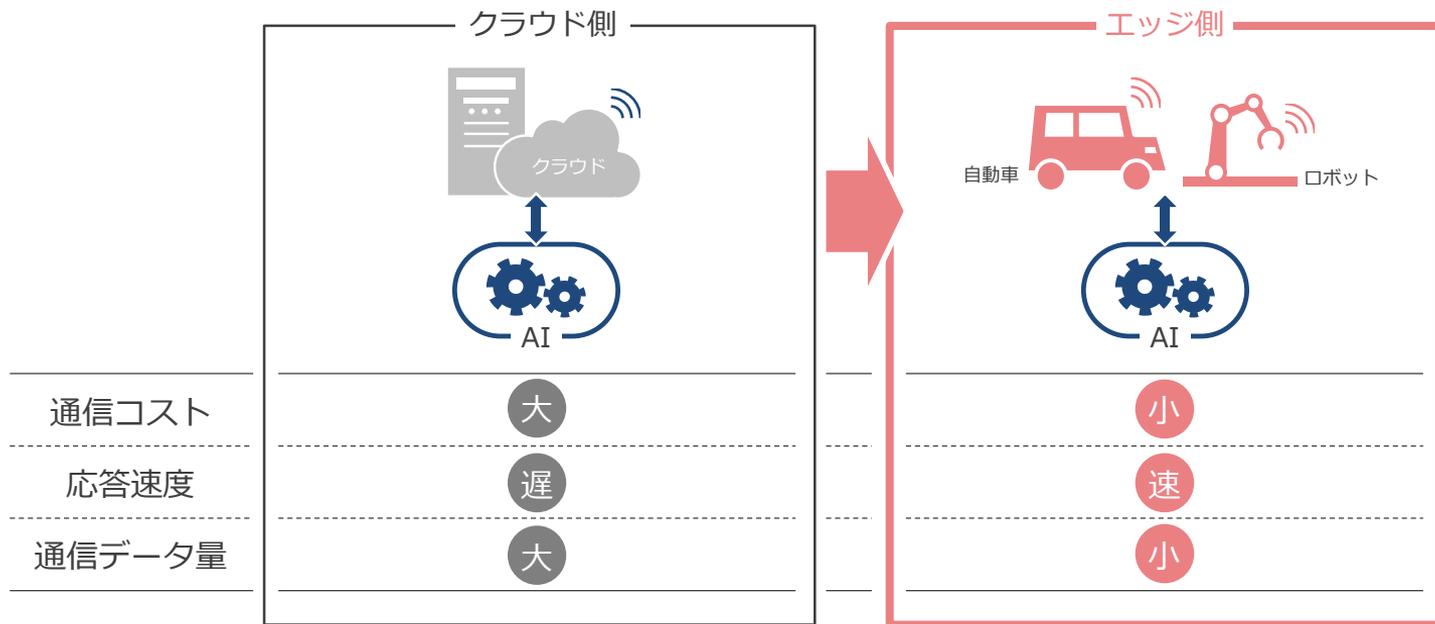
(端末)

AIはクラウド側から**エッジ側での処理**へ

現在の主流はクラウド利用

課題 データ遅延など

エッジ側での処理はクラウド接続なしで動作可能
利便性にも優れ活用が検討されている



ミドルウェア製品 (AXIP)



- 主にゲーミング市場向けに圧縮技術を中心としたミドルウェアを提供
- 業界最高水準のミドルウェアを多機能パッケージとして販売することで付加価値を向上
- 企業、アプリごとに固定若しくは売上連動型のロイヤリティビジネス

他社にはない
幅広いラインナップで
クリエイターを
総合的に支援

差別化要素

当社独自の
ラインナップ

H2MD

アルファ対応ムービーミドルウェア



低負荷・低遅延サウンドミドルウェア

esia

HDR対応超高圧縮ムービーミドルウェア

VUCKET

ファイルパッキングミドルウェア

GRADIA.

マルチプラットフォーム対応超解像ミドルウェア

ai | ia

クロスプラットフォーム対応ディープラーニング・フレームワーク

AXVC

カジノ・アーケードゲーム向けムービーミドルウェア

24 自動運転向けAIチップの研究開発 (機械学習 / 組み込み機器)

NEDO公募事業の一環として研究開発プロジェクトを推進



テーマ 高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発

研究開発 最先端の自動運転システムを開発している(株)ティアフォー(出資先)を筆頭に推進

プロジェクト推進体制



完全自動運転に向けたロードマップ



SHALOプロジェクト（アプリケーションの暗号化ソリューション）

SHALOは、USB ドングルを使用し、よりセキュアに情報管理することができるソリューション

提供する
機能

- 1 アプリケーションライセンス管理
- 2 ログイン認証
- 3 暗号資産管理

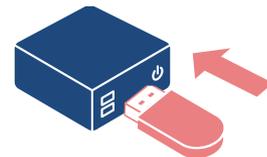
差別化
ポイント

- 1 高い安定性
- 2 クラウド時代に合わせた使い勝手
- 3 国内生産による信頼性



SHALO LICENSING

Windows/Macの
アプリケーションを
USBドングルで起動許可できる



SHALO AUTH

Google / Facebook
VPN等へのログインを
USBドングルで認証できる
* FIDO認証取得予定



VIPPOOL WALLET

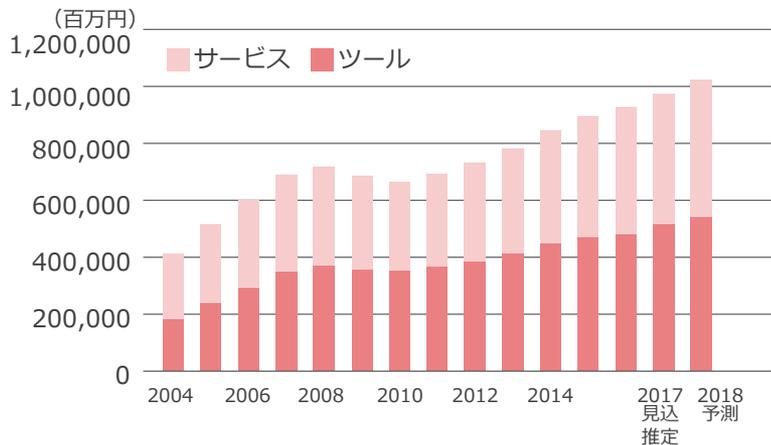
USBドングルに
秘密鍵を格納することで
モナコインを安全に
保管、送金できる



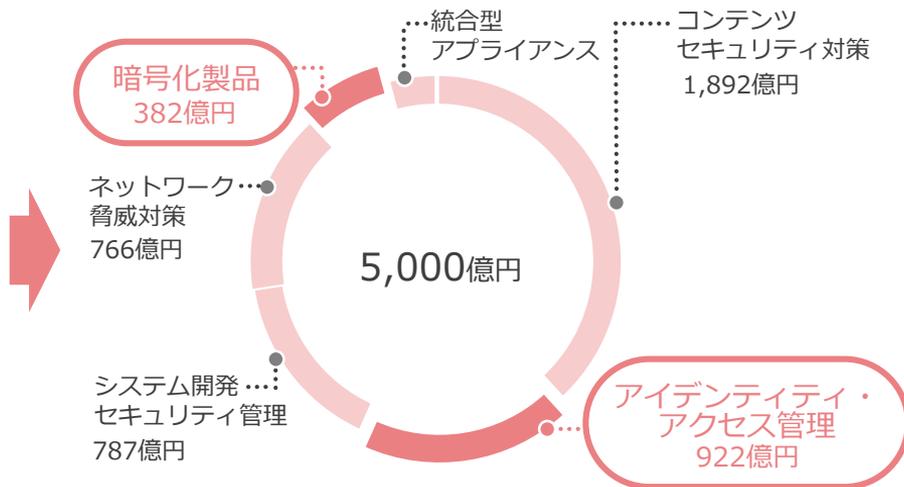
継続的な成長が期待されるセキュリティツール市場

- 当社のターゲットはセキュリティツール市場の暗号化製品市場とアイデンティティ・アクセス管理関連製品市場

国内情報セキュリティ市場の規模と成長性



国内セキュリティ市場における当社のターゲット

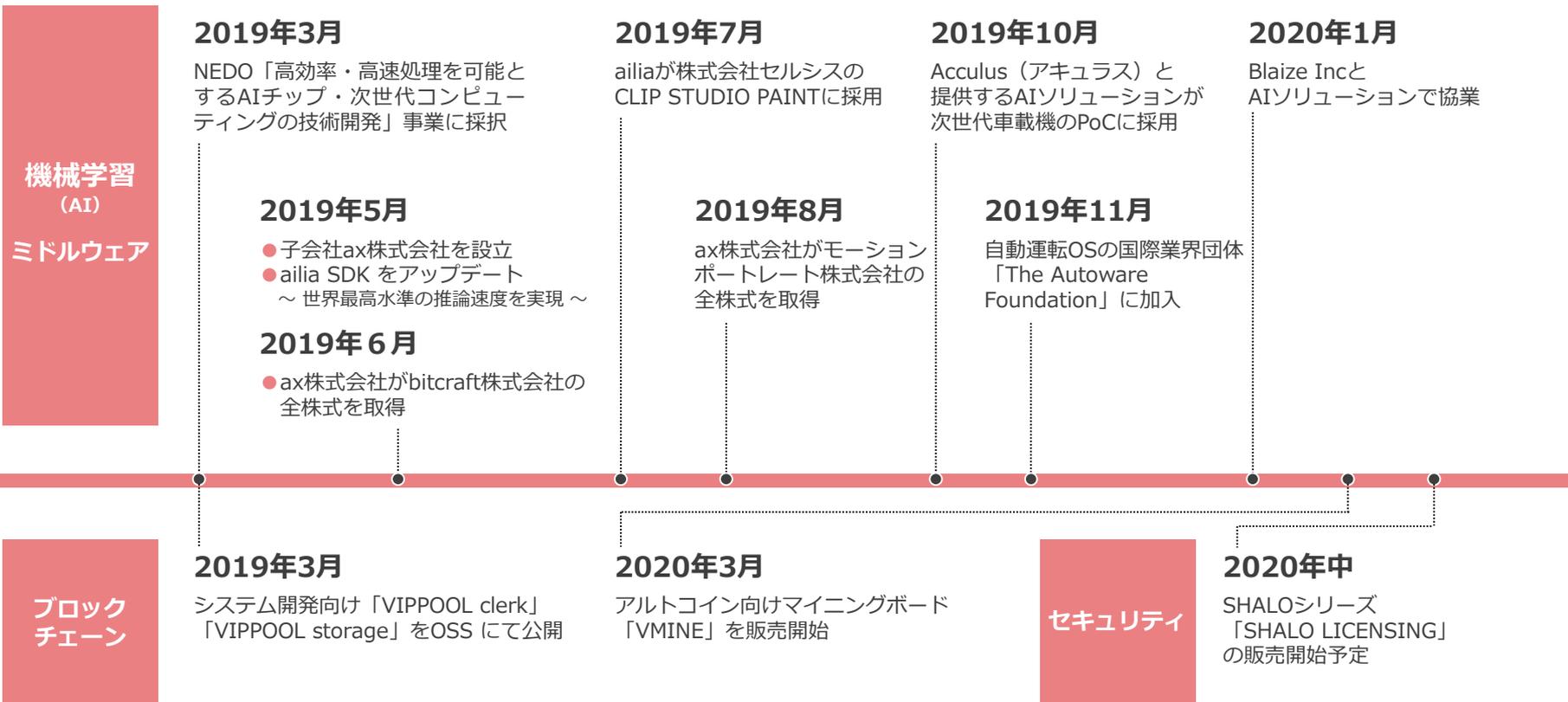


参考：NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 2017年度 国内情報セキュリティ市場調査

27 | ブロックチェーン ハード&ソフト開発力を生かしたビジネス展開



※ 2020年3月にモナコイン(Lyra2rev2)を含むマルチハッシュ対応のマイニングハードウェアの販売開始





本資料に記載の予想数値を含む将来に係る情報は、現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の一部または全部を弊社の許可なく、転載・複写することのないようお願い申し上げます。